



360度評価の実施結果

人事評価制度の一環で、昨年度から「360度評価」を取り入れています。

昨年度は市長、副市長、教育長及び部長級職員までを被評価者としていましたが、今年度は、新たに次長・課長級職員を被評価者に加えて実施しました。

◆ 被評価者

特別職（市長、副市長、教育長）、部長級職員（10名）、次長・課長級職員（36名）

◆ 評価者

特別職（市長、副市長、教育長）、部長級職員（10名）、次長・課長級職員（36名）、課長補佐・係長級職員（83名）

◆ 評価項目と評価点等

(1) 評価項目は5項目で、組織において個人に求められる能力を5つの軸で評価しました。参考にしたのは、コンピューターを構成する5大要素（入力、出力、演算、制御、向上心）。「入力」は「情報収集力」、「出力」は「説明力」、「演算」は「思考力」として、「制御」に相当する「倫理観」は規範や秩序に対する意識を指し、個人の「記憶」は組織においてあまり意味をなさないため、人ならではの要素である「向上心」に置き換えました。

(2) 評価点は5段階評価

【大きく下回る（1点）、下回る（2点）、普通（3点）、上回る（4点）、大きく上回る（5点）】

(3) 評価者それぞれの「あなたが求める市長」、「あなたが求める副市長・教育長」、「あなたが求める部長級職員」、「あなたが求める課長級職員」を基準として評価点をつけました。

◆ 評価結果

